

戸川代表は大阪市立大学経済学部を卒業後、2008年に関西電力の子会社、株式会社ケイ・オプティコムに入社。約9年勤めた後、同社の後輩が起業する際に声を掛けられ、流水プールの運用及びコストダウン営業などの事業を行う会社へと参画した。

戸川代表は業務に当たる中で、「経営者さんたちと話し様々な悩みを知り、力になりたいと感じました。そうしてコンサルティング業務を始めたのです」と言う。

経営の悩みを知る中で「経営者の力になりたい」と考え始める
コンサルティングから必要になった社労士・行政書士の資格取得に注力

学生時代から資格取得に励み、社会人としてもずっとその道を行ってきたという印象が強い士業家。しかし、社会保険労務士法人X-Y-Zパートナークリエイトの戸川一秋代表は、一般的な士業家の経路とは全く違う道を行ってきた。

戸川代表は長いサラリーマン時代を経て、営業や事務、企画などの様々な経験を持つ。社会保険労務士や行政書士の資格を取得した今尚、「士業家というよりも企業家という側面が強いかもしれません」と語る。

また、士業資格のみならず、宅地建物取引主任者や貨物の運行管理者、危険物取扱主任者、ガイドヘルパーなど様々な資格も持つが、これらは全て業務を進める上で必要になったため取得したという。

「従業員との関係で困った、新たな人材が欲しい、経営に行き詰った、トータルサポートが欲しいという際は、是非お声掛けください。人事労務に限らず経営や税務といった、企業に纏わる全てのことをサポートします」

エネルギーで頼りがいのある姿が印象的な戸川代表に、様々なお話を伺った。

様々な資格を駆使して あらゆる企業を救うコンサルタント

社会保険労務士として、企業家として、物流業界の変革を目指す



人材不足の運送業界は、社労士が活躍できる場でもあります。
これからも物流業界に注力して行きたいですね

社会保険労務士法人
X-Y-Z パートナークリエイト.

代表 戸川 一秋



同事務所には様々な悩みを持った依頼者が多く集まるといふ

当初は電気代の削減などの簡単なコンサルから始め、徐々に業務の幅を広げて行った。2019年には、業務で必要になった行政書士資格を取得。「人々が重要であること、企業を根底から支えること」を重視し、戸川行政書士事務所を開業。コンサル業務で関わりのある企業と顧問契約を結び、事務所の経営は軌道に乗っていた。

順調なスタートを切ったものの、戸川代表が歩みを止めることはなかった。「今後の業務に社労士の資格が必要だと感じていました。『顧客が離れて行くのでは』という不安もありましたが、1カ月業務を縮小し全力で資格試験に取り組んだのです」

努力は実り、2020年に社会保険労務士の資格を取得し、個人事務所である社会保険労務士事務所を開業。2024年8月には社会保険労務士法人X-Y-Zパートナークリエイト。の法人登録を行った。

行政書士、社労士共に最短期間で資格試験に合格した戸川代表。座右の銘は、努力は天才を凌駕する。「挑戦し続けることで、天才と言われる数%の人をも凌駕できます。実際に今の私は、出会った時に『天才だな』と思わされた人々も超えてきたという自信があります」

剛毅で頼れる印象の戸川代表。その自信に満ち溢れた様子は、数々の努力に裏打ちされた知識に基づくものなのだ。

労使間のトラブル解決や助成金申請を行う社労士業務

親しみやすい人柄と高い問題解決能力から様々な相談が舞い込む

同事務所は関西圏を中心に、日本全国の依頼に対応。2024年末現在の顧問先は、多種多様な業種の53

社。戸川代表はその顧問先全ての事業内容、組織体、従業員などを把握しているという。

主な事業内容は社会保険労務士業務、行政書士業務、企業コンサルティング業務の3つ。

社労士業務では、企業の集客や規定類・雇用契約書の整備といった労務手続き、給与計算、従業員と会社間における労使間のトラブル解決、助成金申請代行など、人事労務全般を監修している。

労使間のトラブルでは、事件化する前に未然に解決できるよう尽力。介入が間に合わず事件化した場合は、速やかに提携先の弁護士へと引き継いでいる。

労災の事例では、従業員が精神を病み「裁判になれば確実に企業側が負ける」という状態で、戸川代表が対応したケースがある。戸川代表が会社の代表者の傍らでオブザーバーとして同席し、従業員と膝を突き合わせて説得を行った。従業員は「これだけ親身になって話をしてくれるなら」と納得し、示談で落ち着くこととなった。

他に、従業員代理の弁護士から「170万円請求の訴訟をおこす」と言われた案件では、戸川代表の説得によって17万円で示談にできた事例もある。これらの事例は全て、顧問契約の中での対応だというが、戸川代表は「問題が解決することが一番ですから」と屈託なく笑った。もちろん弁護士ではないため、代理人ではなく代表者の横でオブザーバーとしてアシストする役目だ。

社労士という第三者の目線が介入することで、相手側は冷静になることができる。加えて、戸川代表の人柄とアドバイス力が、より良い形で解決へと導いているのだ。

助成金代行申請では、助成金の種類により必要な書類や情報が異

なる中、複雑な助成金の審査や手続き業務のサポートを行う。「助成金は、DX化やリスキング、研修に對しても補助が得られるため、会社に負担なく職員の質の向上が見込めるなど、メリットの大きなものです」行政書士業務では、行政手続きで使用する書類や契約書を作成。最も多い業務は、企業が外国人スタッフを雇う際に必要な、ビザについてのアドバイスや代理申請だ。主に社労士業務の中で発生した業務を補助するように、行政書士の業務を行っているという。

他にも「困ったことがあれば戸川さんに相談しよう」と、専門分野以外にも様々な相談が持ち込まれる同事務所。多くの依頼が無い込み多忙な毎日を送る戸川代表だが、「苦労したという感覚は一切ありません。人を助けているという実感が得られている今が一番、人生楽しいですね」と頼もしい様子で語った。

人・物・金をオールマイティに解決する企業コンサルティング

心血を注ぐひかり物流、田島運輸の立て直しと運送業界の変革

人・物・金の3つが重要な企業コンサルティング業務。同事務所では、人を中心に据えながら物や金まで、顧問先の企業経営全体をサポートしている。

「コンサルタントには良くない印象を持っている方も多いです。そのため、国家資格を取得していることを提示し、依頼者さんの信用を得られるよう努めています。また、とりつくるわず自然体で、人として依頼者さんに接することを大切にしていますね」

経済についても学んだ戸川代表は、経理や税務面も担当。他にも、事業計画や資金調達の話など、会社が成長するために必要なありとあらゆるサポートを行っている。このようにオールマイティに対応できること



“人”を中心に据えながら物や金まで、顧問先の企業経営全体をサポートしている

は、同事務所の大きな強みだろう。

戸川代表が「私の一番の成果で、これまで最も力を入れました」と話すのは、ひかり物流株式会社を立て直した。

当時、ひかり物流と田島運輸を運営していた三佐川氏は、2社の経営を大変に思い、「経営を誰かにサポートしてほしい」と考えていた。この際に、ひかり物流の顧問をしていた戸川代表が手を挙げ、ひかり物流（代表取締役として参画）、田島運輸（取締役として参画）の経営サポートを開始した。

そうして飛び込んだ運送業界は委託が重なる多重構造などにより、他の業界では考えられない異質な状況。加えて、2024年度から自動車運転業務の年間時間外労働について上限が制限され、所謂「2024年問題」により業界全体の人手不足に拍車がかかっていた。

「そんな現状を知るにつれ、『真面目に仕事に取り組んでいる三佐川さんが報われないのはおかしい』と強く思うようになっていったのです」

元々は外部の人間だった戸川代表。代表に就任してからは、事務員の会議やドライバーの勉強会などに出席。職員と顔を合わせる機会を増やすことから組織改革を始めた。

経営的な面では、税理士とも連携して事業計画を見直し、新規顧客開拓や提携企業から紹介を受けるなど積極的な集客にも取り組んだ。これらの取り組みが功を奏し収益は改善。ひかり物流及び田島運輸の経営はV字回復していった。

戸川代表はひかり物流及び田島運輸の業績回復後も「物流業界全体を改善したい」と活動を続け、トラッ

ク協会の会合での講演や大阪府トラック広報に毎月寄稿するなどの活動を行い、運送業界に寄与している。「人材不足の運送業界は、社労士が活躍できる場でもあります。これからも物流業界に注力して行きたいですね」

もう後がない人たちを助ける最後の砦 X-Y-Z

充実した福利厚生と職員へのサポート体制



顧問先の企業に色々なテーマの研修を戸川代表自ら行う

法人名の「X-Y-Z」は同名のカクテル、そして北条司の漫画『CITY HUNTER』で主人公への依頼に使われる「xyz」から名付けられた。

戸川代表が「『もう後がない人たちを助けます』という意味を込めました」と言うように、他の事務所から断られた依頼者や、「立て直しは無理だ!」という状態の依頼者も訪れる。そんな経緯もあり、同事務所には困難な状況にある依頼者が多く集まるという。

戸川代表は依頼者に優しく接し、難しい要望の多くを受け入れているが、あまりにも依頼者が理不尽な場合は毅然とした態度をとることも。

「依頼者さんが完全に上位に立つと、指導を聞いてくれなくなる場合があるのです。それでは顧問契約の意味がなくなってしまうから」

また、仮に依頼者からクレームが寄せられた際は、職員ではなく戸川代表が全ての対応を行う。

「以前の事務所でクレームの矢面に立たされ、つらい思いをした職員もいるのです。もうそのような想いをして欲しくないで、『何かあれば私が出るから安心してね』と声を掛けています」

職務の面だけでなく、職員が快適に働けるよう充実の福利厚生も整えている。特徴的なものでは、座り仕事が多い職員を慮って月2回全体に通院できる体制を用意した。

また、「職員を信頼しクレジットカードも渡し、自己判断で使用するように伝えていきます」と言う。

他に、「子どもたちにお小遣いをあげな」「美味しいものを食べておいで」と自腹で小遣いを支給するなど、職員が気持ちよく働ける環境を整えている。

そんな同事務所が求める人材は、「言い訳をしない人。挑戦を厭わず、楽しんで仕事をしてくれる人」と戸川代表。「『失敗したらフォローお願いします』というように、後の対応は任せてくれて構いません。戻みせずに挑戦し、楽しんで仕事をしてもらいたいですね」

夢は日本で一番の規模を持つ社労士事務所

自身の成長が仲間たちの幸せに繋がると信じて

依頼者や職員に対し、日々誠心誠意尽くす戸川代表。その原動力は、「この世に生を受けた理由、生き続けている理由を、仕事で体現しているから」だと語る。

「自分の存在価値や生存価値について、常に追い求めています。1人でも私を頼りにしてくれる人がいる限り、生き続けたいと思えるのです」

PROFILE

戸川 一秋 (とがわ・かずあき)

1983年、大阪市生まれ。
 私立上宮高等学校、大阪市立大学経済学部卒業。
 2008年4月、株式会社ケイ・オブティコム（現：株式会社オブテージ）に入社。
 2017年に同社を退職。
 現在、ひかり物流株式会社代表取締役、株式会社田島運輸取締役、株式会社 SMARQUE 取締役を兼任。
 物流ニッポン新聞社や大阪府トラック広報誌への記事も執筆中。
 趣味は映画鑑賞、釣り、スーパー銭湯巡り。

資格

特定社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引主任者、マンション管理士、賃貸不動産経営管理士、運行管理者（貨物）、危険物取扱主任者（乙4種）、システムアドミニストレータ、第2種電気工事士 民間資格、個人情報保護士、企業情報保護士、ガイドヘルパー（知的障がい者課程）

INFORMATION

社会保険労務士法人 X-Y-Z パートナークリエイト。



URL ▶ <https://x-y-z.jp/>

所在地	【本社】 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町5-23-15 西田辺林ビル302号室 TEL 080-2000-9694 FAX 06-7494-3342 【出張所】 〒580-0026 大阪府松原市天美我堂4-3-22
アクセス	【本社】 大阪メトロ御堂筋線「西田辺」駅より徒歩1分 JR 阪和線「鶴ヶ丘」駅より徒歩8分
受付時間	〈月～金〉10:00～17:00 〈定休日〉土・日・祝・年末年始（12/28～1/5）
業務内容	社会保険労務士業務、行政書士業務、企業コンサルティング業務、講演、研修業務
設立	2024年
経営理念	顧客にとって、ファミリーであり続けます。 顧客にとって、最大で最後の拠り所であり続けます。 顧客にとって、価値ある存在であり続けます。

たとえば、大企業との契約でも、「戸川さんに顧問で見てもらっていても変わらないね」と言われては意味がない。

「小さな企業で顧問料が安くても『戸川さんのお陰で見通しが立ちました』と言ってもらえる会社と仕事を続けたい。関わった企業が上手く行き、ありがとうと言ってもらう。それを答え合わせとしながら、日々生きている実感を得ています」

また戸川代表は、業務を行う傍らで児童養護施設である神戸実業学院でのボランティア活動も行っている。「神戸実業学院の卒業生と知り合ったことをきっかけに、施設で過ごす子どもたちのことを知り、少しでも貢献したいと考えたのです」

クリスマス会の開催やパソコンの寄贈、就職活動の援助、講演など活動内容は様々。中には社労士として、孤児の人生を救うような対応を行うこともあった。

「神戸実業学院はしっかりとした施設ですが、他の施設では就職活動も満足にできない子どもたちもいます。これからもサポートを続けていきたいですね」

そんな戸川代表は、今後の展望について「当事務所を、全国1位の規模を持つ、誰もが知っている事務所にしたい」と語る。

「そのために私自身も更に成長していき、目印のような、旗のような存在に成りたい。それがきつと、私に関わる仲間たちの幸せに繋がると思うのです。関わった方々を充実させ、1人でも多くの人を幸せにすることを目標に生きていきます」

生の証明のため努力し、人に尽くし続ける戸川代表。その明朗闊達でありながら献身的な人柄が、依頼者の信頼を一身に集めている。